| | | |
|---|---|---|
| | | ⑵　縮小着色モードにおいて指定できる表示の機能は、着色指定、単純コンシール及びフラッシングとする。<br>⑶　それぞれの表示の機能は、対応する制御符号により指定する。<br>⑷　文字符号又は特殊符号の表示において、表示の機能が指定されていない着色小区画の表示の機能は、その前に指定された表示の機能と同一とする。表示区画内の全ての着色小区画の表示の機能を指定されていない場合においても同じ。<br>⑸　縮小着色モードの開始時における各表示の機能は、このモードの開始以前に指定された最終の表示の機能とする。<br>⑹　ノンスペーシング文字、ノンスペーシングモザイク及び合成制御による合成を行う場合は、後続の文字、モザイク等と合成の上、表示する。<br>なお、縮小着色モードは継続する。<br>⑺　着色小区画の移動は、現行の表示区画内において指定するものとする。<br>なお、表示区画は、文字符号又は特殊符号を表示するときに移動するものとする。<br>⑻　縮小着色開始から縮小着色終了までの間において、一字の表示に使用できる縮小着色の符号列は、200バイト以下とする。<br>なお、縮小着色開始と縮小着色終了との間に使用できる符号については、別記第６の第３欄に示すとおりとする。 |
| ＭＣＴ | 縮小着色終了 | 縮小着色モードを終了し、通常の着色モードへ復帰すること。表示の機能は、縮小着色開始の直前の状態へ復帰する。<br>縮小着色終了は、文字符号又は特殊符号の直後に送出するものとする。 |
| WMM | 書込みモード変更 | パラメタＮ１（１バイト）により表示メモリーへの書込みモードの変更を指定すること。<br>⑴　WMM　04／０：前景色及び背景色として指定されている部分を書込むモード<br>⑵　WMM　04／４：前景色として指定されている部分のみを書き込むモード*<br>⑶　WMM　04／５：背景色として指定されている部分のみを書き込むモード* |
| ＴＩＭＥ | 時間制御 | パラメタＮ１（１バイト）、Ｎ２（１バイト）により時間制御の指定を行うこと。<br>⑴　ＴＩＭＥ　02／０　Ｎ２：処理待ち<br>パラメタＮ２によりこの符号以降の符号の処理を指定する時間中断する。<br>パラメタＮ２は04／０から07／15までの範囲とし、ｂ６からｂ１までの６ビットの２進値で指定する（ｂ７及びｂ８は、使用しない。）。指定の時間単位は0.1秒とする。<br>⑵　ＴＩＭＥ　02／１　Ｎ２：音ステータス待ち*<br>パラメタＮ２により音ステータス番号を指定する。<br>上記の音ステータス番号に相当する番号が付加音再生において現れるまでは、この符号以降の符号による表示の実行を保留するものとする。 |
| | | パラメタＮ２は04／０から07／15までの範囲とし、ｂ６からｂ１までの６ビットの２進値で指定する（ｂ７及びｂ８は、使用しない。）。<br>⑶　ＴＩＭＥ　02／２　Ｎ２：付加音開始*<br>パラメタＮ２により音番号を指定し、その番号の付加音の表出を指示する。<br>パラメタＮ２は04／１から07／15までの範囲とし、ｂ６からｂ１までの６ビットの２進値で指定する（ｂ７及びｂ８は、使用しない。）。<br>なお、音番号のない付加音は付加音開始による開始指示を待たずに表出を開始する。<br>⑷　ＴＩＭＥ　02／３　04／０：付加音停止*<br>付加音の表出を停止する。 |
| ＭＡＣＲＯ* | マクロ指定 | パラメタＮ１（１バイト）によりマクロ定義開始、マクロ定義のモード及びマクロ定義終了を指定すること。<br>同一ページ内で同時に定義できるマクロ文の総データ量は、デフォルトマクロ文のデータを含み２キロバイト以下とする。<br>マクロ文中にマクロ符号が使用されるマクロのネスティングの最大数は８とする。<br>⑴　ＭＡＣＲＯ　04／０：マクロ定義開始<br>マクロ定義の符号列は、マクロ定義開始、02／１から07／14までの範囲のマクロ文番号（ＭＣ）、任意の符号列のマクロ文及びマクロ定義終了で構成する。ただし、マクロ文には、マクロ定義及び差替コンシールを含まないものとする。また、マクロ文の終了はマクロの定義終了、新たなマクロ定義開始並びにマクロ定義開始及び実行によって指定する。<br>マクロ定義の符号列の構成は、次に示すとおりとする。<br>ＭＡＣＲＯ \| 04／0 \| ＭＣ \| マクロ文 \| ＭＡＣＲＯ \| 04／15<br>⑵　ＭＡＣＲＯ　04／１：マクロ定義開始及び実行<br>マクロ定義開始を行うとともに定義するマクロ文を１回実行する。<br>⑶　ＭＡＣＲＯ　04／15：マクロ定義終了<br>マクロ文の定義又は実行を終了する。 |
| ＲＰＣ | 文字繰返し | パラメタＮ１（１バイト）によりこの符号に続く表示上の一つの文字又はモザイクをパラメタＮ１により指定する回数繰り返し表示すること。<br>パラメタＮ１は04／０から07／15までの範囲とし、ｂ６からｂ１までの６ビットの２進値で指定する（ｂ７及びｂ８は、使用しない。）。ただし、パラメタＮ１が「０」の場合、表示区画は、表示領域をはみ出さない範囲内で行末まで繰り返し、動作位置を表示区画の大きさを変えずに次の行の最初の位置へ移動する。<br>なお、表示上の文字又はモザイクは、ノンスペーシング文字、ノンスペーシングモザイク又は合成制御による合成を行う場合は、合成後の文字等をいう。<br>また、この符号と繰り返し表示される文字、モザイク等の符号の間に使用できる符号は、別記第６の第２欄に示すとおりとする。 |